



令和7年6月24日

各報道機関 御中

豚熱(CSF)の現状とこれまでの発生からの教訓 ～ 第15回宮崎大学産業動物防疫センター国際シンポジウムを開催 ～

この度、宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター(CADIC: Center for Animal Disease Control)では、第15回宮崎大学産業動物防疫センター国際シンポジウムを開催することとしましたのでお知らせします。

宮崎県では、2010年に発生した口蹄疫により、約7万頭の牛と約22万頭の豚が殺処分されるという未曾有の惨事に見舞われたことから、2011年に、日本で唯一の産業動物感染症を専門に扱う研究センターとして宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター(CADIC)が開設されました。CADICでは、アジアにおける産業動物感染症の研究拠点として最先端の研究を進めるとともに、国際協力機構(JICA)や県などと連携しながら人材育成を行っています。また、設立以来、年1回の国際シンポジウムを開催し、口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザ、アフリカ豚熱などの産業動物感染症に関する最新の知見や情勢などを提供してきました。

今年度は、「豚熱(CSF)」をテーマとして取り上げます。2025年4月、宮崎県内において野生イノシシで豚熱の感染が確認され、県内の養豚場への感染リスクが現実のものとなりました。2018年の国内再発以降、ワクチン接種やモニタリングの徹底により、養豚業界では一定の制御がなされてきたものの、野生イノシシの感染拡大とその影響は、依然として深刻な課題です。今回のシンポジウムでは、「韓国における豚熱対策とその課題」、「国内の豚熱の最新の流行状況」、「現場での対応の実際とその課題」について、3名の専門家にご講演いただく予定です。宮崎県内の現状を踏まえ、地域と連携した実践的な防疫体制の強化についても議論を深める機会としたいと考えております。

本学としましては、これまで培ってきた研究成果とネットワークを生かし、本県をはじめとする各地の畜産業等を守ることに貢献していく所存でありますので、本シンポジウムの取材等についてご検討いただきますようお願い申し上げます。

記

- 日時:令和7年7月3日(木) 13:00-17:00
- 会場:宮崎大学 330 記念交流会館
(対面形式とZoomを用いたオンライン形式によるハイブリッド形式で実施)
- 対象:畜産・獣医療に関わる研究者、行政関係者、一般市民
- 言語:日本語・英語(同時通訳あり)
- その他:詳細は別紙チラシを御確認ください

<セミナーに関する問合せ先>
産業動物防疫リサーチセンター
TEL:0985-58-7674
e-mail:cadic@cc.miyazaki-u.ac.jp

<発信元>
企画総務部総務広報課広報係
TEL:0985-58-7114
e-mail:kouhou@of.miyazaki-u.ac.jp



緊急シンポジウム 豚熱(CSF)の現状と これまでの発生からの教訓

日時

2025年7月3日(木)

13:00-17:00 <開場 12:30>

web配信あり

日↔英同時通訳

会場

宮崎大学 創立330記念交流会館
コンベンションホール (木花キャンパス)

定員 100名
オンライン 150名
参加費 無料
要事前申込, 駐車場無料

事前申込は
こちらから



講演1

英語講演

Historical overview of classical swine fever in Korean peninsula and current statues

米国・カンザス州立大学獣医学部 Young S. Lyoo 教授

講演2

日本語講演

日本の豚熱流行の疫学

農研機構 動物衛生研究部門 山本 健久 グループ長

講演3

日本語講演

2018年の岐阜県における豚熱対応の実際

岐阜県農政部 家畜防疫対策課 高井 尚治 家畜防疫対策監

総合討論

【お問い合わせ先】

宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター

TEL: 0985-58-7674

Email: cadic@cc.miyazaki-u.ac.jp

HP: <https://www.miyazaki-u.ac.jp/cadic/>

主催: 宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター

共催: J-PEAKS (地域中核・特色ある研究大学強化促進事業)

8大学産業動物防疫コンソーシアム

名義後援: 農林水産省, 宮崎県, 日本獣医師会